

「歴史・文化ゾーン内駐車場管理システム等整備事業」に関する意見募集の結果について

| No | 意見の分類 | 意見の概要 | 本市の考え方 |
|----|--------|---|--|
| 1 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 来やすい延岡にする為にも駐車場管理は大事。駐車場管理システムは多くの自治体を実施している。一目で空いている駐車場が分かるのは迷わなくて済むし、駐車場を探し回らなくて良いので利用者にとってはとても安心で、無駄な時間も減らす事が出来る。 | <p>■ カーナビゲーションやスマートフォン(インターネット)により「どこに駐車場があるのか」「どの駐車場が空いているのか」を現地に着く前に分かるように案内・情報発信することは最低限の行政サービスです。市民の皆様や市外から来られる方々が駐車場の利用において困ることなく、また周辺道路での渋滞、混雑、混乱の問題が起こらないようにするためにも、駐車場管理システムを整備したいと考えております。</p> |
| 2 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 来館者だけでなく一般市民にとっても大変重要な問題。このシステムを導入することにより、安心をもらえるだけでなく、事故防止にもつながると期待している。将来のことを考えて投資することは間違いではないと考えている。市民目線で物事を考えてほしい。 | |
| 3 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 目的地に行く時、目的地周辺の駐車場がどこにあるか、駐車場は空いているかをカーナビ等で事前に分かれば安心できるし、スムーズに目的地に到着できるので、この事業に賛成。今回の事業内容と事業費見直しは議会からの意見も取り入れた見直しであり、3月議会では僅差(1票差)で否決されたものと思いますが、今回再度パブリックコメント募集を経て、是非予算が通って欲しいと思っている。 ● 問題が起こってから対応を考え、予算化し、設備システムを構築するのでは年単位の期間が必要になると思う。 | |
| 4 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 案内を十分に出来ず、市民が使うにも、市外からのお客様へも不満が生じ、延岡市の観光業の要であるレポートに繋がらないということは衰退を意味する。様々なイベントにお金を費やしても、延岡は大変だったから行かないと言われるような悲しい街にしないで欲しい。案内設備を作って税金の無駄遣いをやめて欲しい。 | |
| 5 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 以前から、歴史・文化ゾーン内駐車場の件については分かりにくいと思っていた。市の進める事業に賛成。 | |
| 6 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 最近、野口遵記念館等が新しくなり、良い事だが、駐車場が分かりにくい。高齢者は特にどこにあるか分からない。この書類が来てここに有るんだ、と分かった。地元の人が分かりにくいのだから、他県等から来た人はもっと分からないと思う。 | |
| 7 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 満車空車の状況表示はここ最近ではパーキングの基本設備の一つだし、またカーナビとの連携は移動時間の節約につながるので良いサービスだと思う。どちらかという普段の生活というよりはイベントや混雑時に役立つものだと感じる。 ● とりわけ一番のメリットは県外等から延岡を訪れる観光客に対してではないか。土地勘がないことや、イベント時の渋滞を考えると事前に駐車場の情報を知れるのはとても有益だと思う。イベント時、混雑時と聞くと限定的な感じもするが、最近ではある程度当たり前になってきた設備だし、将来的にスマホ等との連携など、スマートシティへ向けて行政サービスを進めていく上で最初の段階として取り組む価値があると思う。 ● 初めて延岡に足を運ぶ際に交通がスムーズにいかないと利便性の低い街というイメージをもたれて旅行先やイベントの開催先として選ばれなくなってしまう。今後、延岡の経済を考えた上でインバウンドや観光客の誘致は欠かせないと思うので、それに向けた基礎インフラ整備の一つとなることを期待している。将来的には延岡ポータルアプリとの連携もしてほしい。 | |
| 8 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● このシステムは是非必要だと思う。先日、友人が延岡城・内藤記念博物館で開催されている絵画をみるために延岡を訪れたのだが、近辺の駐車場は何処も満車で他を探そうにも分からなかったと言っていた。地元の人であれば他の場所も分かるかもしれないが、今秋開店する喫茶店ができれば駐車場は人が増えると思う。経費削減になると思うし、是非導入して欲しい。 | |
| 9 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 設置を希望する。催し物の際には市内はもとより市外からのお客様も多数こられる。駐車場の位置、満空状況がわからなければ、楽しさも半減してしまう。市内外、車で動くのが当たり前になっている。現在、駐車場状況で手こずれば、二度と来てもらえない。雨の日も風の日も日照りの日も外で整理される人達の苦勞を考えてほしい。 | |
| 10 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 当初の大規模な広域満空表示板等を見直し、必要なシステムに絞った「歴史・文化ゾーン内駐車場管理システム等整備事業」は、行政サービス等と同様に「子どもの安全を確保」することに関与するので、早期実施をお願いしたい。また将来のニーズ、技術の進歩等を考慮し拡張性を持ったシステムで願います。 | |
| 11 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 事例のような体験をしたことがある。誘導員による人力ではリアルタイムでの状況把握は困難であり、AIを使った効率的な管理が求められるし、今後、生産年齢人口の減少により誘導員の確保も難しくなる。点在している駐車場をAIで一括管理できれば利便性が増す。以上のことから、システムの導入には賛成する。 | |

| No | 意見の分類 | 意見の概要 | 本市の考え方 |
|----|------------|--|--|
| 12 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地元の間人であれば、どこに駐車場があるというのは何となくわかっているが、市外から来られた方は今の点在している駐車場ではまったくわからない。このデジタル化の時代、カーナビやホームページ等で情報が分かれば駐車される方も助かると思うし、一目で満車かどうかわかれば便利だと思う。費用の面でも市が試算している通り、現在のように人を配置し続けるよりも、システムを導入した方が安くなる事を考えると、早期に導入すべきだと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ カーナビゲーションやスマートフォン(インターネット)により「どこに駐車場があるのか」「どの駐車場が空いているのか」を現地に着く前に分かるように案内・情報発信することは最低限の行政サービスです。市民の皆様や市外から来られる方々が駐車場の利用において困ることなく、また周辺道路での渋滞、混雑、混乱の問題が起こらないようにするためにも、駐車場管理システムを整備したいと考えております。 |
| 13 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 施設が新しくなって、たくさんの方が来られる事や、コメダ珈琲のオープンも考え、当初市が提案していた全面的なシステムの導入を望む。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 広域看板等も含めた全面的なシステムの導入につきましては、事業費をめぐる市議会での質疑も踏まえ、今後の必要性の高まりを見ながら、再度検討していく考えです。 |
| 14 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 安全運転をお願いし、子どもを守る啓発活動を当駐車場管理システム上でお願いしたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 安全運転等、子どもを守る啓発活動につきましては、別途検討してまいります。 |
| 15 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 今回の案に賛成。加えて、駐車可能台数の半分でも良いので、時間帯を指定して駐車枠を予約できるようにして欲しい。運転中はカーナビ、携帯電話の操作が出来ないことから、移動中に目的としていた駐車場が満車となった場合、延岡市街地は一方通行も多く経路変更が難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 歴史・文化ゾーン内の公共駐車場につきましては、イベント実施の際に団体のお客様が利用する場合や大型バスの駐車利用の場合には予約可能とすることを考えておりますが、一般利用者の利用につきましては、コストなどの課題もありますので、今回のシステムは対応しておりません。今後の状況において必要性が高まってきましたら費用面や駐車場の公共性を勘案しながら検討してまいります。 |
| 16 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 小規模の駐車場が空いているか分からないのであれば中途半端。この案で実施し、後で追加する場合の追加予算が発生するというのであれば削減案ではなく当初案でいったらどうか？ | <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業費が大きい等の市議会での質疑も踏まえ、今回、小規模の駐車場は対象外としたところがあります。また、今回のパブリックコメントで公表している費用は、現時点で必要な仕様を基に積算したものであり、広域満空表示看板等、前回のパブリックコメントから除外されたものにつきましては、今後、必要性の高まりを見ながら、再度検討していく考えであります。 |
| 17 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 人員配置による半永久的なコストを明確にし、導入したランニングコストを明示して関係者、市民、利用者にはわかるように比較表などがあると良い。警備員の費用は将来的に上がっていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ ランニングコスト等につきましては、資料1の3頁に記載しているとおりであり、今回の事業を実施することこそが財政支出を削減することになると考えております。誘導員の費用につきましては、将来的な上昇率等が不明確であることから、現段階での誘導員費用を基に積算しておりますが、近年の人手不足の状況は、人口減少傾向の中、より強まると考えられますので、誘導員経費が増加することが懸念されます。 |
| 18 | 肯定的な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設投資には見積りが高い様な感触をもっている。公共施設投資には大切な税金が使われているので、実行段階でのコストダウンと追加が発生しない様をお願いする。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 公表しているシステム整備費用等につきましては、現時点で必要な仕様を基に積算したものであり、今後、競争入札によりコストの削減が見込まれます。 |
| 19 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 職員がどこの駐車場を使用し、何台駐車場を使用しているか、把握しているのか。見ただけで言うてはいけない。実際自分の目で見て調べてから駐車場管理システムを導入するか判断してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ この度の検討に当たり、本市では、データ(令和元年度のカルチャープラザのべおかの利用者実績数や延岡城・内藤記念博物館の入館者見込数など)に基づく駐車台数の試算を行った上で、駐車場管理システムの検討を行いました。 ■ 駐車場管理システムは、駐車場が満車になるから導入するというのみならず「どこに駐車場があるのか」「どの駐車場が空いているのか」を現地に着く前に分かるようにするための行政サービスとして必要であると考えております。 ■ 今後、アフターコロナで各種イベントなどが本格的に再開され、さらに、コメダ珈琲(来客者数年間99,000人見込み)もオープンし、これまで以上に多くの方が来られる事になります。そのような中、「どこに駐車場があるのか」「どの駐車場が空いているのか」を現地に着く前に分かるようにしなければ、大変不便な上、周辺道路での渋滞・混雑・混乱に繋がるおそれがあります。そのため、市として駐車場の状況をタイムリーに発信することは、言わば必要最低限の情報提供であり、それを行う責務があります。また、インバウンドも含めた観光振興による地域経済の再生を図らなければならない状況で、観光客に一度でも「延岡市は不親切だ」と思われてしまったら、その方は二度と来てくれませんし、そのような評判が拡がることは大きな損失となります。これらの問題を未然に抑えるためにも、駐車場の満車・空車の情報を個別満空表示板や市のホームページ、カーナビゲーションでタイムリーに広く発信し、スムーズな駐車場誘導を行う駐車場管理システムを整備する必要があると考えております。 ■ 5月の連休後の通常の週末においても、主要駐車場では満車状態となっております。 |
| 20 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 今まで一度も駐車場が満車になったのを見たことがない。多額の税金を使ってAIカメラを設置する必要はない。 | |
| 21 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 何故今なのか？もっと柔軟にやるべき。今ある駐車場が満車になる事は無いと思っている。周りの状況を見ながら、段階的に整備していけば良いのではないのか？この1年間をかけて駐車状況調査を実施する必要があると思う。 | |
| 22 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 市外や県外からの来客が多いことは大変良いことであり、「お接待の街」と言われる延岡市として、出来るだけのことはすべきだと思うが、カメラや表示看板を取り付ける必要があるかどうかは、もう少し状況を見てからの方が良いと考える。 | |
| 23 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 急がずに、1年程度様子を見て、その間実態調査を行うと良いのでは。延岡城・内藤記念博物館周辺は開館直後は多少混んではいたものの、落ち着いた今では慢性的な渋滞どころか、駐車場は庁舎前を除いてはガラガラ状態。野口遵記念館の駐車場が利用できるようになってからは更に顕著になった。周りの友人知人も一度様子見した方が良いとの声が多く、リピーターを呼び込むようなイベントを企画しないと集客増は厳しいと思う。市長が言っている市外県外からの集客について、どのくらいの集客があるのか実態調査が必要ではないか。 ● 令和5年度予算実行を専決処分までして頑なになっているのには、何か急がなければならない理由があるのかと勘繰りたくなる。まだまだ急がなければならない事業はたくさんあるはず。 | |

| No | 意見の分類 | 意見の概要 | 本市の考え方 |
|----|------------|--|--|
| 24 | 誘導員について | <ul style="list-style-type: none"> ● 誘導員の人数も多い。特にこの事業が議会発議されてからは急に増えたように思える。庁舎前駐車場は別として、全体的には現在の半分で良い。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 誘導員につきましては、延岡城・内藤記念博物館の開館に合わせて周辺駐車場への配置を開始しております。延岡城・内藤記念博物館周辺には、駐車場が複数箇所に点在しており、現状では、市外の方々はもとより、市民の皆様にとっても、どこに駐車場があるのか、またどの駐車場ならば駐車できるのかが分からない状態となっています。そのため、それぞれの駐車場に誘導員を配置し、満車・空車の状況や、他の駐車場の場所等を個々の車に伝える形を取らなければならないことから、現状の体制となっております。 |
| 25 | 誘導員について | <ul style="list-style-type: none"> ● 延岡城・内藤記念博物館は、平日でも私達数人。坂道には警備員2名。団体の場合は予約をしてほしいとの事であるが、人数に応じた人員が良い。 | |
| 26 | 誘導員について | <ul style="list-style-type: none"> ● 以前から誘導員の多さに驚いている。近隣の自治体であれだけの誘導員を配置している所は延岡市以外で見かけた事がない。個人的な考えだが、過剰な誘導員は必要ないと思う。 | |
| 27 | 誘導員について | <ul style="list-style-type: none"> ● 誘導員は、本当に必要な場所に必要な人数が配置されているのか疑問である。 | |
| 28 | 誘導員について | <ul style="list-style-type: none"> ● 現在は誘導員が多いように感じる。 | |
| 29 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 例題としてあるケースは、そもそも駐車場に停められないことが原因としてあるのに対し、ネットでの駐車場状況はまだしも、入口の満車表示板設置をしたところで根本的な解決ではないのではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 例えば野口遵記念館の駐車場において、「駐車場内に入って一通り回って初めて満車であることが分かったが、現状では大変不便だ」との指摘も受けてしまっております。そのような状況に一日も早く対応しなければならないことから、個別満空表示板を設置しようと考えております。 |
| 30 | 駐車場について | <ul style="list-style-type: none"> ● 1億円以上の費用を投じる前に、駐車場の拡充を考えるべき。市役所前の駐車場や野口遵記念館駐車場も立体にすればかなりの台数を確保できると思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 事業費として1億6,000万円以上の経費を見込んでおりますが、逆に駐車場管理システムを整備しなければ、毎年最大で9,300万円の支出が発生していくこととなりますので、財政支出の面でも早期のシステム整備が必要です。また、延岡城・内藤記念博物館や野口遵記念館の周辺には、空いている土地がほとんど無いため、駐車場の拡充は現状では困難です。仮に駐車場の立体化を考えるとしましても、法令による立体駐車場の建設可能面積の制限があり、且つ上階に上がる為のスロープに必要な面積や、駐車区画の配置を考慮すると、多額の建設費をかけても駐車可能台数はほとんど増えませんので、駐車場の立体化は困難です。 |
| 31 | 駐車場について | <ul style="list-style-type: none"> ● 見えるものがあるのは助かるが、それよりも駐車場を増やして欲しい。 | |
| 32 | 概要の例題について | <ul style="list-style-type: none"> ● 概要の(例1)から(例3)は、実際に起こってもいない事を例えとして挙げていて、誘導的な作文に困惑する。藤井フミヤ作品展でも実際に駐車場が満車になっていないということは市に確認した。しかし、概要の中には、いかにも満車になったような書き方をしているように感じる。そもそも内藤記念博物館、野口遵記念館の建て替え周知が不十分で、システム以前にそういう広報に注力することが急務ではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 「はじめに」で示した例は、これまで本市がお聞きした実際の事例であり、今後も起こるものと考えする必要があります ■ 今後、アフターコロナによるイベント等の本格的な再開や、コメダ珈琲のオープンに伴い、現状よりもさらに多くの方々に来られることが想定されます。インバウンドも含めた観光振興による地域経済の再生を図らなければならない現状の中、観光客に一度でも「延岡市は不親切だ」と思われてしまったら、その方は二度と来てくれませんし、そのような評判が広がることは大きな損失となります。そのような事態を未然に防ぐためにも、駐車場管理システムの整備を早急に行わなければならないと考えております。 ■ 5月の連休後の通常の週末においても、主要駐車場では満車状態となっております。 |
| 33 | 概要の例題について | <ul style="list-style-type: none"> ● 「はじめに」で示された3つの例は非常に例外的なものと思う。 | |
| 34 | 概要の例題について | <ul style="list-style-type: none"> ● 資料1の「1. はじめに」の部分に記載されている3つのケースは、全て付近の駐車場が満車という前提になっている。歴史・文化ゾーンに多くの方が自家用車で訪れるとの想定での机上の空論での誘導的な意見募集に思える。実際これまでの藤井フミヤのトークショーやゴールデンウィーク期間中においても、延岡市役所第一駐車場ですら満車になっていない。これだけの整備費、運用経費を考えるならば、コメダ珈琲オープン後の状況を確認し、利用数を公表し、パブリックコメントを実施し、整備の必要性を検討すべき。 | |
| 35 | システムについて | <ul style="list-style-type: none"> ● 特段、AIカメラでなくても、エンクロスの市営駐車場のゲート方式で十分であるとする。現在の駐車場利用状況を見ると、無断駐車される方が多いように感じてならない。エンクロスのように、延岡城・内藤記念博物館等の施設利用者には、カードで無料化するシステムで十分と考える。そうすると無断駐車も少なくなる。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 市役所から野口遵記念館、城山、延岡城・内藤記念博物館周辺の周辺エリアを含めた歴史・文化ゾーンには、駐車場が複数箇所に点在しており、市内外からこられる方にとって、駐車場の位置や満車・空車の状況が分かりづらい状況となっています。駐車場管理システムは、この問題に対して、「どこに駐車場があるのか」「どの駐車場が空いているのか」を現地に着く前に分かりやすく伝えるためのものであります。また、現在、無断駐車される方はほとんどいない現状であることや、ゲート方式でも現地に着いてから満車・空車が初めて分かる状況には変わらないことから、ゲート方式に整備する必要は無いと考えております。 |

| No | 意見の分類 | 意見の概要 | 本市の考え方 |
|----|--------------|--|--|
| 36 | 誘導員について | <ul style="list-style-type: none"> ● 比較対象の誘導員を配置した場合の費用を9,300万円としているが、どうしても365日駐在は現状に即していないし、本当に9,300万円が必要なのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 駐車場誘導員を365日配置予定としている駐車場は、城山公園北駐車場と城山公園南駐車場のみであり、それ以外の駐車場等につきましては、各施設の開館日(開庁日)に合わせた配置を予定して駐車場誘導員の費用を算出しております。 歴史・文化ゾーン内には、駐車場が複数箇所にて点在しており、現状、誘導員を配置しなければ、どこに駐車場があるのか、またどの駐車場ならば駐車できるのかが分からない状態となっております。今後は、アフターコロナによるイベント等の本格的な再開や、コマダ珈琲のオープンにより、周辺駐車場の利用者増加が想定されます。それに加えて、県北初の国の公開承認施設として整備した延岡城・内藤記念博物館では、平日でも全国からお客様が来られるような展示を行っていくことから、市内のみならず、市外・県外のお客様にも安心・快適に来館していただくための対応が必要です。 「どこに駐車場があるのか」、また「どの駐車場が空いているのか」が分からなければ、周辺道路の渋滞・混雑・混乱に繋がるおそれもありますので、それらの問題を防ぐため、周辺の駐車場情報を利用者の方々に伝えていかなければならないのですが、システムを導入しなかった場合、それぞれの駐車場等に誘導員を配置し、案内を行っていかねばなりません。公表している費用は、以上の考えに基づいて積算したものであります。 |
| 37 | 事業の進め方について | <ul style="list-style-type: none"> ● 令和4年7月29日付けの市議会の付帯決議をみると、「特に地域住民からの要望が強い市道本小路線の東進車両の右折対策について、信号機の時差式や右折レーン設置の早急な対策を行うこと」とあるが、地元の要望を取り入れることなく、事業を早急に進める「駐車場管理システムありき」の方針は、市民の意見が反映されていないのでは。広域満空表示板は、今後必要性が高まったことが確認出来た段階で、再度検討を行うとあるが、どのような状況を見て必要の判断をされるのか。恣意的に事業遂行をすべきではないと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 市では「駐車場管理システムありき」の考えは持っておりませんので、このようなパブリックコメントを予算案提案前に行っているところです。また、信号機や右折レーンについては、既に以前から県警察と協議を行っておりますが、すぐには実現できないとの回答を県警察からいただいております。 ■ 広域満空表示板につきましては、システムを導入した後の混雑状況や、利用者の方々のご意見を把握した上で、必要に応じて検討を行っていきたいと考えております。 |
| 38 | 事業の進め方について | <ul style="list-style-type: none"> ● これまで、多額の税金を使って整備した第5、第7駐車場は特定の事業者や、市民に継続して月極駐車場として利用させている。そして、駐車場が足りないと言っている。さらに、第8駐車場(NTT社宅跡)は狭いからと、システムの対象にはしていない。城山北公園北側の道路に面した職員駐車場と、出来る限りの入れ替えをすべきではないか。これらの課題を解決しないまま駐車場管理システム優先の考え方は理解できない。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 第5駐車場及び第7駐車場につきましては、元々民間駐車場であったものを買収した駐車場であるため、従前の利用者で、かつ、生活に支障が出る等の特別な事情のある方が、他の民間駐車場を確保できるまでの間に限って使用を認めることとしております。月極・平日月極駐車場としてご利用されている方々につきましては、新たな駐車場を別に確保していただくよう繰り返しお願いしているところであり、今後も引き続きお願いしてまいります。 第8駐車場につきましては、入口付近が狭い道路となっており、車の離合が出来ないため、職員用駐車場とした場合、通勤時間に混雑することが想定され、周辺住民の皆様の生活に影響が出る懸念があります。そのため、第8駐車場につきましては、他の駐車場が満車となる場合等に、誘導員を配置しての利用を想定しております。 ■ 駐車場管理システムは、駐車場が足りないから導入するというのみならず、まず「どこに駐車場があるのか」「どの駐車場に駐車できるのか」を現地に着く前にわかるようにするためのものであり、且つ、現状のままでは多額の誘導員経費を支出し続けなければならないという問題を解決するために整備を検討しているものです。 |
| 39 | 歴史・文化ゾーンについて | <ul style="list-style-type: none"> ● 資料中に、「コマダ珈琲ができれば、駐車場不足数はもっと大きくなると見込まれる」との記載があるが、そもそも、駐車場が不足していると分かっている場所に店舗を構えるのは、市長、自ら駐車場をつぶしているようなもの。コマダ珈琲出店は遅れているようだが一度白紙に戻して、建設予定地はそのまま駐車場として利用してはどうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 現在、野口遵記念館や、延岡城・内藤記念博物館の来館者、さらには城山公園来場者の方々がゆっくりとくつろいで飲食等をいただける場所はほとんどありませんので、その課題を解決し、日常的に城山周辺に多くの方に来てもらうことで歴史・文化都市づくりを推進していく必要があります。 ■ P-PFI事業は、城山公園に民間事業者の実績に基づくアイデアやノウハウを積極的に取り入れ、より魅力的な公園とし、「市民が集まる公園」、「観光客を呼び寄せる公園」として整備し、賑わい拠点を創出することを目的としております。これは、今後、延岡市が発展する上でとても重要な事であり、これを白紙に戻すということは、延岡市が発展する機会を失うと同時に企業等からの信用も失ってしまいます。そのため、如何に混雑を避けるかを第一に考えなければなりません。 |
| 40 | 歴史・文化ゾーンについて | <ul style="list-style-type: none"> ● 私達の生活道路の途中、城山公園北駐車場がある。その公園駐車場に「コマダ珈琲」が開店すると新聞や市からのライン等で周知している。しかし、駐車場不足の状況で誘致することは理解できない。「コマダ珈琲」は必要ないと考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 「どこに駐車場があるのか」「どの駐車場が空いているのか」現地に着く前に分かるようにし、且つ現状の誘導員経費を削減しながら、駐車場の満車・空車の情報を個別満空表示板や市のホームページ、カーナビゲーションでタイムリーに広く発信し、スムーズな駐車場誘導を行う駐車場管理システムを早期に整備する必要があると考えております。 |
| 41 | 歴史・文化ゾーンについて | <ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場不足が前提なのに、なぜそこにコマダ珈琲を誘致するのか。賑わうのは最初だけで、若者達は既にほかのエリアでコマダ珈琲を利用しているので、今更目新しさも感じられない。言っていることと、やろうとしていることがバラバラで不信感が拭えない。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 実施されるイベントの規模により、歴史・文化ゾーン内の駐車場が大幅に不足する事が想定される場合は、他の地域の駐車場からのシャトルバス運用を検討したいと考えておりますが、その前に、まず「駐車場がどこにあるのか」「どの駐車場ならば止められるのか」を現地に着く前にお知らせするシステムを整備し、且つ現状のままでは毎年多額の支出が続くことになる誘導員経費を削減する必要があるところです。 ■ まちなか循環バスなどの利用促進も図っていく考えであります。特に市外・県外から来られる方々の場合、延岡駅からということのみならず、延岡インターチェンジから車で来られることを考えて、親切な案内・情報発信を行っていく必要がありますので、このシステムは必要不可欠です。 |
| 42 | 公共交通機関等について | <ul style="list-style-type: none"> ● 広島の厳島神社の駐車場の様に案内すべきだと思う。イベントに合わせたシャトルバスの運営と案内看板等の設置も必要だと思う。 | |
| 43 | 公共交通機関等について | <ul style="list-style-type: none"> ● 歴史・文化ゾーンでのイベント等は、公共交通機関を利用するという考えを広報していかないといけない。市営の駐車場で賄うことはできないものと考えべきである。 | |
| 44 | 公共交通機関等について | <ul style="list-style-type: none"> ● バスのことも少し考えてもらいたい。想定例に書いているものは、全て日時のある程度わかっているイベント等であることから、それに合わせて臨時駐車場を複数箇所設けて、シャトルバスかシャトルタクシーを出すようにすれば、道に迷ったり渋滞になる可能性が下がるのでは？ | |

| No | 意見の分類 | 意見の概要 | 本市の考え方 |
|----|--------------|--|---|
| 45 | 駐車場について | <ul style="list-style-type: none"> ● これから先、著名アーティストのイベントがあると思うが、その際、イベントホームページ等で駐車場の有無や、駅から何分、バス、徒歩等の所要時間を表示することが必要だと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 公共交通機関や駐車場情報につきましては、延岡城・内藤記念博物館や野口遵記念館のホームページのアクセスページ等に掲載しております。また、このご意見を受け、先日、延岡市のホームページ(上記施設に係るページ)にも反映いたしました。 ■ 「駐車場がどこにあるのか」だけでなく、「どの駐車場ならば止められるか」を現地に着く前にタイムリーにお知らせすることが必要ですし、且つ現状のままでは多額の誘導員経費を支出し続けなければならないため、駐車場管理システムが必要と考えております。 |
| 46 | 駐車場の必要台数について | <ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場の必要台数の根拠が、前回と今回で何がかわっているのかわからない。不足数が88台から78台となったのはわかるが、準備できている駐車場は第5駐車場と第8駐車場の2箇所外され、その台数は、60台近くなので、不足数は88台+60台で148台にも関わらず、78台不足となった根拠・計算の前提が変わったのか説明して欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 駐車場の不足台数が88台から74台に変更となった理由は、第8駐車場の整備台数を見込みよりも増やすことができたこと(利用可能台数が8台増)と、第7駐車場で市有化前から利用していた民間利用者の方が利用を終了したこと(利用可能台数が6台増)により、駐車場利用台数が14台増加したためです。また、第8駐車場及び第5駐車場につきましては、システムの整備対象から除外するものの、利用はできますし、不足台数を算定する際の保有台数に含まれております。 |
| 47 | 駐車場の必要台数について | <ul style="list-style-type: none"> ● $Y=A \times B \times C \times (1/D) \times (1/E)$ Y: 駐車場必要台数、A: 年間利用者数、B: ピーク日集中度、C: 自動車分担率 D: 1台当たり同乗者数、E: 駐車場回転数 この計算式において、今まで実績からピークの日と平日の平均において、駐車場の必要台数を教えて欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ A: 年間利用者数は、資料1のP4【積算根拠】①の表で示しているカルチャーゾーン施設の年間来館者数「444,967」人としております。 B: ピーク日集中度は、カルチャーゾーン施設の利用は季節性のもではなく、年間を通して利用されていることから、四季型(通年利用)の係数「0.01」としてしております。 C: 自動車分担率は、観光者の7割が自動車を利用することを想定した収容力と考え、「0.7」としてしております。 D: 1台当たりの同乗者数は、家族利用や個人利用があり、その平均常用人数として「2.0」人としております。 E: 駐車場回転数は、カルチャーゾーン施設の滞在時間を約1時間と想定しており、これから1日「3.5」回転としております。なお、今回の計算においては「$1/3.5 \approx 0.28$」としております。これらにより、Y: 駐車場必要台数を「436」台と算定しておりますが、これは「観光計画の手法((社)日本観光協会)」の手法から算出しているものです。 ご意見にある駐車場利用実績におけるピーク日と平日の平均の値は、この算定手法では用いないこととなっておりますが、この手法は最近も新宮崎県体育館の必要駐車場台数を判断する上で用いているなど、現時点で最も適する試算方法であると考えております。 |
| 48 | 駐車場について | <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者実績で、該当する12箇所の駐車場の野口遵記念館開館後のデータを公表して欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 誘導員を配置している駐車場について12月18日～3月31日までの利用台数は以下のとおりです。 延岡城・内藤記念博物館正面駐車場: 2,323台 カルチャープラザのべおか第1地上・地下駐車場: 20,781台 カルチャープラザのべおか第2駐車場: 1,079台 カルチャープラザのべおか第3駐車場: 1,229台 カルチャープラザのべおか大駐車場: 8,935台 野口遵記念館駐車場(延岡市役所第2駐車場): 21,107台 延岡市役所第1駐車場: 58,061台 なお、城山公園北駐車場・南駐車場につきましては、ゲートを撤去したことにより集計不可となったため、利用台数の把握を行っておりません。 |
| 49 | 駐車場について | <ul style="list-style-type: none"> ● 城山北駐車場と南駐車場のゲートを撤去したことで利用者の駐車台数が把握できないと思うが、把握の方法を教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 城山公園北駐車場・南駐車場につきましては、ゲートの撤去により計測不可能となったため、現在は駐車台数の把握を行っておりません。 |
| 50 | 事業費について | <ul style="list-style-type: none"> ● 費用の妥当性について、設備投資において、人件費と比較することは理解できるが、人件費の実態が過剰な人員であれば、税金の無駄遣いの計算基礎で設備の妥当性は説明として納得できない。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 駐車場誘導員の人件費につきましては、14箇所の駐車場に最大18人の誘導員を配置した場合の最大限の費用を提示したものです。誘導員の配置人数につきましては、イベントの開催等による混雑状況に合わせた、急な雇用調整が難しいことから、基本的にはフルスペックの状況を想定する必要があるところです。 |
| 51 | 施設利用者数について | <ul style="list-style-type: none"> ● 県外来館者の実績は？ | <ul style="list-style-type: none"> ■ 各施設における県外来館者数の把握は行っておりませんが、先般、野口遵記念館で開催された「藤井フミヤ展 スペシャルトーク」の当選者数は620名で、このうち県内市外からは171名、県外からは130名となっており、合計で49%の方が市外・県外から来館されました。現在、延岡城・内藤記念博物館で開催中の「藤井フミヤ展」におきましても、駐車場には、以前よりも多くの県外ナンバーの自動車が駐車しています。 |
| 52 | 施設利用者数について | <ul style="list-style-type: none"> ● この政策を行いたいならば、野口遵記念館や延岡城・内藤記念博物館の市外からの来場者数を調べて公表するべき。 | |

| No | 意見の分類 | 意見の概要 | 本市の考え方 |
|----|------------|--|---|
| 53 | 事業の必要性について | ● 1年の内に、全ての駐車場が満車になる時が、何回あるのか。多額の税金を駐車場のためにだけに投入するのは時期尚早だと思う。 | <p>■ 駐車場管理システムは、駐車場が満車になるから導入するというのみならず「どこに駐車場があるのか」「どの駐車場が空いているのか」を現地に着く前に分かるようにするための行政サービスとして必要であると考えております。</p> <p>■ 今後、アフターコロナで各種イベントなどが本格的に再開され、さらに、コマダ珈琲(来客者数年間99,000人見込み)もオープンし、これまで以上に多くの方が来られる事になります。過去の実績値等のデータに基づいて算出した駐車場必要台数としては、コマダ珈琲を利用するお客様が駐車する台数を勘案しなくても、74台不足との試算結果が出ています。そのような中、「どこに駐車場があるのか」「どの駐車場が空いているのか」を現地に着く前に分かるようにして、歴史・文化ゾーン内の各駐車場を効率良く使っていただけるようにしなければ、大変不便な上、周辺道路での渋滞・混雑・混乱に繋がるおそれがあります。そのため、市として駐車場の状況をタイムリーに発信することは、言わば必要最低限の情報提供であり、それを行う責務があります。</p> <p>また、インバウンドも含めた観光振興による地域経済の再生を図らなければならない状況で、観光客に一度でも「延岡市は不親切だ」と思われてしまったら、その方は二度と来てくれませんし、そのような評判が拡がることは大きな損失となります。</p> <p>これらの問題を未然に抑えるためにも、駐車場の満車・空車の情報を表示板や市のホームページ、カーナビゲーションでタイムリーに広く発信し、スムーズな駐車場誘導を行う駐車場管理システムを整備する必要があると考えております。</p> <p>■ 5月の連休後の通常の週末においても、主要駐車場では満車状態となっております。</p> <p>■ 子育て世帯への支援や物価対策等、市民生活に密接に関係した事業につきましては、必要な対策にしっかりと取り組んだうえで、駐車場管理システム事業が必要であると考えております。</p> <p>■ 現状のままでは、空いている駐車場にも、満車・空車状況の伝達や他の駐車場への案内の必要性から誘導員を配置し続けなければならないため、この状況を変えるためにも、駐車場管理システムが必要と考えます。</p> <p>■ 今回整備を考えているシステムは景観条例上も問題はありません。</p> <p>■ 今回のシステムは別段ハイテクなものではなく、市の行政サービスとして必要なものである上、現状のまま誘導員経費をかけ続けるよりもはるかに低コストで駐車場の管理運営ができるものです。</p> |
| 54 | 事業の必要性について | ● いつもガラガラの駐車場には、駐車場管理システムの必要性を全く感じない。血税は物価高騰で家計負担が増えている子育て世帯への支援等有効に使ってほしい。 | |
| 55 | 事業の必要性について | ● 日常的に誘導員が必要な駐車場は市役所前の駐車場だけで、イベントがある場合はその時だけ誘導員を配置すれば済むので駐車場管理システムは必要ない。多額の血税を使ってすべき事業がもっと他にある。他県の人が多数訪問したいと思うような延岡市にしてほしい。 | |
| 56 | 事業の必要性について | ● 年に1度程度の混雑する状況に何億も税金を使って設置する必要があるとは思えない。もっと市民の生活に密接に関係することを考えて頂きたい。 | |
| 57 | 事業の必要性について | ● 看板に多大な費用がかかるらしいが、個人的にはもっと別の場所に費用を使ってほしい。 | |
| 58 | 事業の必要性について | ● 人の集まるような所に、満足してもらえるような所にお金を使ってほしい。 | |
| 59 | 事業の必要性について | ● ハイテクなシステムはそれなりに素晴らしいとは思いますが、他にやらなければならない事がたくさんあるはず。 | |
| 60 | 事業の必要性について | ● 延岡市の今の現状では、常に駐車場を管理する必要はないと思う。今必要な所にその予算を使ってほしい。 | |
| 61 | 事業の必要性について | ● 歴史・文化ゾーンに市民の税金を使って、駐車場管理システムを整備するだけの経済効果が本当にあるのか？これだけの事業を行って、効果が無ければいずれ市民の税金負担にかかってくるんじゃないか不安。 | |
| 62 | 事業の必要性について | ● 駐車場は、現状で十分回転していると思う。市内の一等地で数も広さも十分ですので、このままで、誘導員も大きな催事の時だけの雇用でもいいのではないかと思います。その予算を使い、延岡市に県外の人を呼ぶ為の色々なアイデアを募集したり、少しでも経済が上向くような事に向けて市民の反対意見に耳を傾けて下さい。 | |
| 63 | 事業の必要性について | ● 都市景観からいっても構造物は作らない方が良くと思う。他のインフラ整備に使ってほしい。 | |
| 64 | 事業の必要性について | ● 延岡市が管理している駐車場で誘導員が必要そうなのは数カ所、大半は不要。過剰配置による税金の無駄遣いが明確なのに、更に設備投資をしようとして今の延岡市の現状にそぐわない政策は一市民として残念に思う。まずは市民が魅力を感じて集客が期待できるイベントを誘致して本当に駐車場が不足しているという実績を沢山作った上での話。時期尚早。もっと他に有効な税金の使い方を考えるべき。 | |
| 65 | 事業の必要性について | ● 電子版の駐車場案内が今の状況では必要でないと思う。他の予算に使ってほしい。 | |
| 66 | 事業の必要性について | ● 今の駐車場の利用状況を見ると、このシステムが今すぐ必要とは思っていない。このシステム導入にあたっては、まだまだやる事がたくさんあるのではないか。(調査、市民への説明等)又、その前に延岡は観光が弱い為、もっと力をいれたい。より多くの市民の理解を得ていただきたい。 | |

| No | 意見の分類 | 意見の概要 | 本市の考え方 |
|----|------------|---|---|
| 67 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場にお金をかけて整備する意向ですが、とんでもない話。現在、スタッフが親切に誘導してくれるし、満車の時は細かく指示してもらおう。大切な税金を不必要な所へ使用するの反対。税金は大事に使ってほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 歴史・文化ゾーン内には、駐車場が複数箇所あり、且つ点在しており、現状、誘導員を配置しなければ、どこに駐車場があるのか、またどの駐車場ならば駐車できるのかが分からない状態となっております。今後は、アフターコロナによるイベント等の本格的な再開や、コメダ珈琲のオープンにより、周辺駐車場の利用者増加が想定されます。それに加えて、県北初の国の公開承認施設として整備した延岡城・内藤記念博物館では、平日でも全国からお客様が来られるような展示を行っていくことから、市内のみならず、市外・県外のお客様にも安心・快適に来館していただくための対応が必要です。 ■ 「どこに駐車場があるのか」、また「どの駐車場ならば駐車できるのか」が分からなければ、周辺道路の渋滞・混雑・混乱に繋がるおそれもありますので、それらの問題を防ぐため、周辺の駐車場情報を利用者の方々に伝えていかなければならないのですが、システムを導入しなかった場合、今後もそれぞれの駐車場等に誘導員を配置し、案内を行っていかなければなりません。この場合、毎年最大で93,000千円の支出が発生していくこととなりますので、財政支出削減のためにも早期のシステム整備が必要と考えております。 |
| 68 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 歴史・文化ゾーン内駐車場管理システム等整備事業に関して、税金の無駄遣いだと思う。 | |
| 69 | 誘導員について | <ul style="list-style-type: none"> ● 誘導員配置について、見積りが高すぎると思う。民間の施設であれば繁忙期のみ配置。暇な時にはかなりの人員を減らして運用する。 | |
| 70 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 年配者が多くなっている中、AIを使って駐車場の空き状況を見る必要はない。また使えない。満車が予想されるイベント等は市直営の駐車場からシャトルバスを走らせればよい。他から人が来るイベント、施設等をつくる方が先ではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 今後は、アフターコロナによるイベントの本格的な再開や、コメダ珈琲のオープン等により、周辺駐車場の利用者増加が想定されます。それに加えて、県北初の国の公開承認施設として整備した延岡城・内藤記念博物館では、平日でも全国からお客様が来られるような展示を行っていくことから、市としては、お客様に如何に安心・快適にご利用していただけるかということを重視しなければなりません。そのような中で、駐車場管理システムの整備や誘導員の配置を行わなかった場合、現地に着いた後、駐車場の中を一周しなければ満車か空車かが分からないような状況になってしまいます。 このような状況を回避するためにも、最低でもそれぞれの駐車場等に誘導員を配置し、満空状況を利用者の方に伝えていくことで駐車場に入る前に満車か空車かが分かるようにしなければなりません。誘導員をそれぞれの駐車場に配置するとなると、毎年最大で93,000千円の支出が発生し続けていくことになり、大きな財政負担となります。このため、課題を解決するためにも早期のシステム整備が必要と考えております。 ■ 実施されるイベントの規模により、歴史・文化ゾーン内の駐車場が大幅に不足する事が想定される場合は、他の地域の駐車場からのシャトルバス運用を検討したいと考えておりますが、その前に、まず「駐車場がどこにあるのか」「どの駐車場ならば止められるのか」を現地に着く前にお知らせするシステムを整備し、且つ現状のままでは毎年多額の支出が続くことになる誘導員経費を削減する必要があるところです。 ■ 延岡城・内藤記念博物館や野口遵記念館こそが、まさにご指摘の「他から人がくるイベント、施設等」であり、歴史的な展示以外にもさまざまな展示、イベントを行っていきます。 ■ 多くの年配の方々もカーナビゲーションを使っておられますので、今回のシステムは、まさに年配の方々に現地に着く前に「どこに駐車場があるのか」「どの駐車場なら止められるのか」をお伝えするものです。年配の方々の運転に混乱や不安を生じさせないようにすることも市の責務であると考えております。 |
| 71 | 誘導員について | <ul style="list-style-type: none"> ● 警備員費用(年間約93,000千円)をもっと他に使うことが必要だと思う。まずは警備員を削減することが最優先課題。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 歴史・文化ゾーン内には、駐車場が複数箇所に点在しており、現状、誘導員を配置しなければ、どこに駐車場があるのか、またどの駐車場ならば駐車できるのかが分からない状態となっております。今後は、アフターコロナによるイベント等の本格的な再開や、コメダ珈琲のオープンにより、周辺駐車場の利用者増加が想定されます。 それに加えて、県北初の国の公開承認施設として整備した延岡城・内藤記念博物館では、平日でも全国からお客様が来られるような展示を行っていくことから、市内のみならず、市外・県外のお客様にも安心・快適に来館していただくための対応が必要です。 「どこに駐車場があるのか」、また「どの駐車場ならば駐車できるのか」が分からなければ、周辺道路渋滞・混雑・混乱に繋がるおそれもありますので、それらの問題を防ぐため、周辺の駐車場情報を利用者の方々に伝えていかなければならないのですが、システムを導入しなかった場合、それぞれの駐車場等に誘導員を配置し、案内を行っていかなければなりません。 公表している費用は、以上の考えに基づいて積算したものであります。 ■ 現在でも、誘導員配置は駐車場の状況に応じて行っていますが、突発的な誘導員の確保や休止等はできませんので(契約上、毎日の状況で配置する・しないを変えることは誘導員の方の生活上も難しいです。)、ご指摘のような事も生じてはいますが、このような問題を解決するためにも、人の配置に頼らない形(つまり今回のシステムによる方法)による駐車場管理が必要です。 |
| 72 | 誘導員について | <ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場が満車になる事は年に1度あるかないかとのこと。満車が予想される時だけ、誘導員を配置すれば良いと思う。現在、イベントも無いのに、誘導員を配置しているとのことだが、その方が無駄遣いなのではないか | |
| 73 | 誘導員について | <ul style="list-style-type: none"> ● 14の駐車場に全箇所誘導員配置はおかしい。普段の日はほとんど車がこない駐車場が何箇所かある。 | |
| 74 | 誘導員について | <ul style="list-style-type: none"> ● 誘導員の配置は非効率かもしれないが、積算根拠がフェアでないと感じる。なぜ、現在の費用の実績を提示しないのか。 | |

| No | 意見の分類 | 意見の概要 | 本市の考え方 |
|----|--------------|--|---|
| 75 | 事業費について | <ul style="list-style-type: none"> ● 初期投資、運用費等の詳細・明細はどうなっているのか。カメラが1台壊れたら、取替にいくらかかるのか、システム運用費のサービス利用料は何をどこまでカバーされる内容なのか、管理費は別途かかっているのか等、確認したいことが何も確認できていないのに、税金を使って良いかどうか判断などできない。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 今回公表したシステム・看板等整備費のうち、カメラ1台当たりの費用につきましては、約10万円を見込んでおります。適切な管理の上、10年程度の利用が可能ないように維持管理を行ってまいります。万が一故障した場合は時価による交換になります。 また、システムの運用費の内容につきましては資料1のP6(5)システム運用費試算で示されているとおりになります。 いずれにしましても競争入札によるコストの削減を見込んでおります。 |
| 76 | 歴史・文化ゾーンについて | <ul style="list-style-type: none"> ● 「コメダ珈琲(来客数年間99,000人見込み)がオープンすることも考える必要があります。」とあるが、エンクロスに然り、費用対効果が年間6億円という触れ込みで開業した事は事実だが、あれは過大評価事業。それだけの相乗効果が発生していれば、山下新天街や駅前周辺の人の賑わいは目を見張るものがあると思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ コメダ珈琲の来客見込み数は、事業主体会社の積算によるものであります。(市が経営しないので、市が算出した数字ではありません。)また、P-PFIによる事業は、公募により事業者を募って公園利用者の利便性を図るためのもので、コメダ珈琲は市に使用料を支払った上で営業するものです。 ■ コメダ珈琲日向店については、大型複合書店と駐車場を共同利用しており、コメダ珈琲日向店に限った駐車場利用状況の調査が困難であることもあり、把握しておりません。 |
| 77 | 歴史・文化ゾーンについて | <ul style="list-style-type: none"> ● コメダ珈琲の来客見込み数(99,000人)は、誰がどのような根拠で出したのか。また、コメダ珈琲は駐車場を有するのか？市の駐車場を利用して営業するのなら問題であると思う。 | |
| 78 | 歴史・文化ゾーンについて | <ul style="list-style-type: none"> ● コメダ珈琲ができることもこのシステム導入が必要な理由のひとつに挙げられているが、日向市にあるコメダ珈琲のオープン時から現在に至るまでに駐車場利用状況の把握はしているのか | |
| 79 | 事業費について | <ul style="list-style-type: none"> ● システムの導入に市議会での反対が多いのは、一つは今までの経験から、混雑するのは一時的なことで、そのために常時監視できるシステムを導入するのは無駄あるいは時期尚早ではないかとの考えが生まれるためだと思う。従って、そうした疑念を解くことが出来れば、賛成者も増えると思う。今回の事業概要の説明資料を見ると、こうした疑念を解くための提案がなされている。こういった対応は適切だと思う。しかし、システムを導入しない場合の誘導員配置に係る費用の積算が年間約93,000千円と過大である。人材派遣会社との契約の関係で混雑状況に合わせた調整が困難とのことだが、今回の場合は敢えて調整可能な数字を示すべきだと思う。その上で、上記システムを採用した場合に係る費用との比較を行い、システム導入のメリットが十分あるということになれば、議会だけでなく、市民の賛同も得られると思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ システムを導入しない場合の誘導員の費用については、今後、アフターコロナによりさまざまなイベントが活発化していくことが予想されたため、最大の経費で試算することが最も合理的と判断したものであります。最大93,000千円の説明の中で、年度毎の誘導員の費用については議会にて公表しております。 ■ 市の来場者見込数のうち、図書館やカルチャープラザの利用者数は、あくまでも過去の実績値(令和元年度の数値)を用いて試算しており、また、延岡城・内藤記念博物館の利用者数につきましても、来館者数は増えており、当初見込んだ数値以上になっていますので、過大ではありません。 |
| 80 | 事業費について | <ul style="list-style-type: none"> ● 個別満空状況を把握するシステムとして、今回はカメラによるリアルタイムの把握ができるようなので、従来のシステムとの機能だけでなく設置費用やメンテ費用なども含めた違いを明示すべき。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ システムに必要な誘導員費用のほか、10年分の年間運用費・電気代も含めて比較しています。 ■ 機器は、10年以上の使用が可能であるため、必要に応じて発注するメンテナンス費用は計上しておりません。 |
| 81 | 意見募集方法について | <ul style="list-style-type: none"> ● 広報のべおかに令和4年度のパブリックコメントの運用状況が記載されているが、50人を抽出して、とある。「広報のべおか」に募集を記載し、市民みんなに知らせるべきと考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ パブリックコメントの意見募集について、既に新聞報道、ホームページ、Facebook、LINE等でもお知らせしています。広く市民の皆様へ周知することは大事ではありますが、「広報のべおか」の活用は原稿作成から出版までの時間の制約上、なかなか活用できませんので、上記のような方法としています。 |
| 82 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 「カーナビゲーションやスマートフォン(インターネット)により、どこに駐車場があるのか、どの駐車場が空いているのかを現地に着く前にわかるよう、案内・情報発信することは最低限の行政サービスであり」と書かれているが、近隣地域や九州管内の観光地等で導入されているのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 本市が導入を予定しているシステムを導入していない自治体においては、通常、大規模施設の整備の前に予めまとまった大規模な駐車場を先に用意していることや、行政と民間の駐車場が多くあるといったことが考えられます。しかしながら、本市では、延岡城・内藤記念博物館の整備着手前に駐車場を確保できていなかった上、歴史・文化ゾーン内には駐車場が複数箇所に点在していることから、システムの導入が必要です。 ■ 駐車場管理システムにつきましては、例えば、大分県等での導入を確認しております。 |

| No | 意見の分類 | 意見の概要 | 本市の考え方 |
|----|------------|--|--|
| 83 | 事業費について | <ul style="list-style-type: none"> ● 財政支出削減のためにもこの事業は必要です。とあるが、そもそも全く満車にならない駐車場に誘導員を配置して計算されている経費年間約93,000,000円は、18人の誘導員を配置する費用として計算されているもの。ひとり当たり5,166,666円。1日8時間、週休2日、年間261日勤務したと考えると、時給2,989円になる。週休1日、313日勤務で計算してみても時給2,063円。宮崎県の最低賃金とかけ離れた高い時給を支払って、ガラガラの駐車場の案内をさせているということだが、本当に現状これだけの人件費をかけているとしたら、一市民としてそれ自体が大きな問題だと感じる。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 誘導員の配置にかかる費用は、賃金のみではなく、社会保険料や警備会社の管理経費等も含んだ上での費用であることをご理解ください。(市が直接人員を確保することが難しいため、入札により、警備会社などに委託する形になります。)なお、深刻化している人手不足の状況から、誘導員経費は今後さらに増加することが懸念されます。 ■ 歴史・文化ゾーン内には、駐車場が複数箇所あり、且つ点在しており、現状、誘導員を配置しなければ、どこに駐車場があるのか、またどの駐車場ならば駐車できるのかが分からない状態となっております。今後は、アフターコロナによるイベント等の本格的な再開や、コマダ珈琲のオープンにより、周辺駐車場の利用者増加が想定されます。それに加えて、県北初の国の公開承認施設として整備した延岡城・内藤記念博物館では、平日でも全国からお客様が来られるような展示を行っていくことから、市内のみならず、市外・県外のお客様にも安心・快適に来館していただくための対応が必要です。 ■ 「どこに駐車場があるのか」、また「どの駐車場が空いているのか」が分からなければ、周辺道路の渋滞・混雑・混乱に繋がるおそれもありますので、それらの問題を防ぐため、周辺の駐車場情報を利用者の方々に伝えていかなければならないのですが、システムを導入しなかった場合、それぞれの駐車場等に誘導員を配置し、案内を行っていかねばなりません。公表している費用は、以上の考えに基づいて積算したものであります。 |
| 84 | システムについて | <ul style="list-style-type: none"> ● カーナビゲーションについて、アップデートしなければ使えないのではないか。アップデートは有料だし、そもそも最新情報のナビがスマホで簡単に使える現在、有料で定期的にカーナビシステムをアップデートしている人がどれほどいるのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 駐車場の満車・空車情報は、国土交通省所管のサーバーを経由しVICSから発信されますので、基本的にはほとんどのカーナビゲーションで受信されるものと考えております。また、駐車場の満空情報はカーナビゲーションだけでなく、インターネットによる市のホームページでも発信する形となりますのでスマートフォンなどでも確認できます。万が一、ご利用の自動車のカーナビゲーションでご利用できない状況におきましても、そちらをご利用していただけます。 |
| 85 | システムについて | <ul style="list-style-type: none"> ● カーナビが使えない場合はスマホ(インターネット)で、事前に延岡市役所のホームページにアクセスし、このシステムの利用が可能なサイトにアクセスし利用が可能とのことだったが、わざわざ検索して利用する人がどれだけいるのか。事前の手間暇がかかりすぎる。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 事前にスマホ等で確認を行わなかった場合においても、現地に着いて、個別満空表示看板等により満車か空車かを一目で分かるようになることは、渋滞や混雑等を避けるうえで非常に重要であると考えます。今後は、アフターコロナによるイベントの本格的な再開や、コマダ珈琲のオープン等により、周辺駐車場の利用者増加が想定されます。それに加えて、県北初の国の公開承認施設として整備した延岡城・内藤記念博物館では、平日でも全国からお客様が来られるような展示を行っていくことから、市としては、お客様に如何に安心・快適にご利用していただけるかということを重視しなければなりません。そのような中で、駐車場管理システムの整備や誘導員の配置を行わなかった場合、現地に着いた後、駐車場の中を一周しなければ満車か空車かが分からないような状況になってしまいます。このような状況を回避するためにも、最低でもそれぞれの駐車場等に誘導員を配置し、満空状況を利用者の方に伝えていくことで駐車場に入る前に満車か空車かが分かるようにしなければなりません。誘導員をそれぞれの駐車場に配置するとすると、毎年最大で93,000千円の支出が発生し続けていくことになり、大きな財政負担となります。このため、課題を解決するためにも早期のシステム整備が必要と考えております。 |
| 86 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 人口が減少しており、所得も低い延岡で、イベント等で外部から人が来たとしても、コマダ珈琲に年間99,000人は来ないと思う。それよりも、観光、グルメで人を呼んでいる延岡なので、道路の整備の方が先ではないかと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ コマダ珈琲の来客見込み数は、事業主体会社の積算によるものであります。(市が経営しないので、市が算出した数字ではありません。) ■ 道路整備等、市民の生活に密接に関係した事業につきましては、必要な対策にしっかりと取り組んだうえで、駐車場管理システム事業が必要であると考えております。 ■ 現状のままでは、空いている駐車場にも満車・空車状況の伝達や、他の駐車場への案内の必要性から誘導員を配置し続けなければならないため、この経費を削減するためにも、駐車場管理システムが必要と考えます。 |
| 87 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場の位置が分からない問題については、駐車場の住所を周知させればグーグルマップですぐにわかる。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 駐車場管理システムは、駐車場の場所が分からないから導入するというもののみならず「どの駐車場が空いているのか」を現地に着く前に分かるようにするための行政サービスとして必要であると考えております。 |
| 88 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 延岡市の財源を使つての事業であるのなら、延岡市民ファーストの使い方として頂きたいと切に思う。私達の大切な税金をもっと他に使うべきところは沢山あると思う。その為に市議会議員を選出し、末端の意見も聞いて頂いているのだと思っている。これからの延岡市への不安も感じている。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 現状のままでは多額の誘導員経費(大切な税金です)を支出し続けることとなりますので、その削減を図ることこそが「市民ファースト」だと考えます。 ■ これまで議会から予算案を否決されてはおりますが、「どこに駐車場があるのか」、「どの駐車場が空いているのか」を現地に着く前に分かるように、スマートフォン(インターネット)により情報発信することは、最低限の行政サービスであり、それが出来ていないことは、市民の皆様にとっても、市外から来られる方々に対しても極めて不親切です。また、渋滞・混乱を未然に防ぐことは行政の責務であり、試算上駐車場不足が明確に示されているのに対策を実行しないことは怠慢とのそしりを免れないこととなります。 |
| 89 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 私達は選挙で市議会議員を選出している。その市民の代表である議員さん達が色々な案件で賛成又は反対の議論をして、物事の是非を決定している。私達一般人とは比べようもない情報を意見の中で判断しているはず。私は議会での多数決の結果を支持する。良識ある判断におまかせする。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 費用対効果を分析し、最小の費用で最大の効果を実現することこそ行政の責務でありますので、今後も丁寧な説明を行い、議会への提案を行ってまいります。 |

| No | 意見の分類 | 意見の概要 | 本市の考え方 |
|----|------------|---|--|
| 90 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 文化センターの大ホールのイベント参加時さえ、ネットで事前に駐車場の空き状況を調べてイベントに参加するような感じにはならない。高齢者比率が高く、市外から遊びに来る頻度も少ない延岡市の駐車場にAIカメラなど導入する費用があるのなら、子育て対策などもっと利のある対策に税金を使って欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 例えば、5月の連休後の通常の週末においても、主要駐車場では満車状態となっております。 ■ 今後は、アフターコロナによるイベントの本格的な再開や、コメダ珈琲のオープン等により、周辺駐車場の利用者増加が想定されます。それに加えて、県北初の国の公開承認施設として整備した延岡城・内藤記念博物館では、平日でも全国からお客様が来られるような展示を行っていくことから、市としては、お客様に如何に安心・快適にご利用していただけるかということを重視しなければなりません。そのような中で、駐車場管理システムの整備や誘導員の配置を行わなかった場合、現地に着いた後、駐車場の中を一周しなければ満車が空車かが分からないような状況になってしまいます。 このような状況を回避するためにも、最低でもそれぞれの駐車場等に誘導員を配置し、満空状況を利用者の方に伝えていくことで駐車場に入る前に満車が空車かが分かるようにしなければなりません。誘導員をそれぞれの駐車場に配置するとすると、毎年最大で93,000千円の支出が発生し続けていくことになり、大きな財政負担となります。このため、課題を解決するためにも早期のシステム整備が必要と考えております。 ■ 子育て世帯への支援や物価対策等、市民生活に密接に関係した事業につきましては、必要な対策にしっかりと取り組んでいくと共に、駐車場管理システム事業につきましても、駐車場の諸問題を解決する為にも必要な政策であると考えております。 ■ 多くの年配の方々もカーナビゲーションを使っておられますので、今回のシステムは、まさに年配の方々に現地に着く前に「どこに駐車場があるのか」「どの駐車場が空いているのか」をお伝えするものです。 |
| 91 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 現況駐車場に特に困る事はない。来延者の為でもあるという事だが、年に数回の文化イベントの為に多額の税金でシステム整備をする必要は無いと思う。その都度の誘導員の配置があれば良いのではないか。高齢者の多い延岡でAIを使ったシステムは活用できるのか？時期尚早に思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 例えば、5月の連休後の通常の週末においても、主要駐車場では満車状態となっております。 ■ 今後は、アフターコロナによるイベントの本格的な再開や、コメダ珈琲のオープン等により、周辺駐車場の利用者増加が想定されます。それに加えて、県北初の国の公開承認施設として整備した延岡城・内藤記念博物館では、平日でも全国からお客様が来られるような展示を行っていくことから、市としては、お客様に如何に安心・快適にご利用していただけるかということを重視しなければなりません。そのような中で、駐車場管理システムの整備や誘導員の配置を行わなかった場合、現地に着いた後、駐車場の中を一周しなければ満車が空車かが分からないような状況になってしまいます。 このような状況を回避するためにも、最低でもそれぞれの駐車場等に誘導員を配置し、満空状況を利用者の方に伝えていくことで駐車場に入る前に満車が空車かが分かるようにしなければなりません。誘導員をそれぞれの駐車場に配置するとすると、毎年最大で93,000千円の支出が発生し続けていくことになり、大きな財政負担となります。このため、課題を解決するためにも早期のシステム整備が必要と考えております。 ■ 多くの年配の方々もカーナビゲーションを使っておられますので、今回のシステムは、まさに年配の方々に現地に着く前に「どこに駐車場があるのか」「どの駐車場が空いているのか」をお伝えするものです。 ■ 現在でも、誘導員配置は駐車場の状況に応じて行っていますが、突発的な誘導員の確保や休止等はできませんので(契約上、毎日の状況で配置する・しないを変えることは誘導員の方の生活上も難しいです。)、ご指摘のような事も生じてはいますが、このような問題を解決するためにも、人の配置に頼らない形(つまり今回のシステムによる方法)による駐車場管理が必要です。 |

| No | 意見の分類 | 意見の概要 | 本市の考え方 |
|----|------------|---|--|
| 92 | 誘導員について | <ul style="list-style-type: none"> ● 空いている駐車場に多額の税金を投入してシステムを導入するのではなく、誘導員が案内すれば良いだけ。誘導員の数が多すぎるのでイベント時のみに配置すればよい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 今後は、アフターコロナによるイベントの本格的な再開や、コメダ珈琲のオープン等により、周辺駐車場の利用者増加が想定されます。それに加えて、県北初の国の公開承認施設として整備した延岡城・内藤記念博物館では、平日でも全国からお客様が来られるような展示を行っていくことから、市としては、お客様に如何に安心・快適にご利用していただけるかということを重視しなければなりません。そのような中で、駐車場管理システムの整備や誘導員の配置を行わなかった場合、現地に着いた後、駐車場の中を一周しなければ満車が空車かが分からないような状況になってしまいます。 このような状況を回避するためにも、最低でもそれぞれの駐車場等に誘導員を配置し、満空状況を利用者の方に伝えていくことで駐車場に入る前に満車が空車かが分かるようにしなければならないのですが、誘導員をそれぞれの駐車場に配置するとすると、毎年最大で93,000千円の支出が発生し続けいくことになり、大きな財政負担となります。このため、課題を解決するためにも早期のシステム整備が必要と考えております。 ■ 現在でも、誘導員配置は駐車場の状況に応じて行っていますが、突発的な誘導員の確保や休止等はできませんので(契約上、毎日の状況で配置する・しないを変えることは誘導員の方の生活上も難しいです。)、ご指摘のような事も生じてはいますが、このような問題を解決するためにも、人の配置に頼らない形(つまり今回のシステムによる方法)による駐車場管理が必要です。 |
| 93 | 意見募集方法について | <ul style="list-style-type: none"> ● 意見を誘導するような意見の募集をするのではなく、公平に意見を募集すべき。誘導員による案内と駐車場管理システムの案内のどちらが良いかアンケートを取るべき。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 意見募集の概要等に記載されているものは、あくまでも市としての考えであり、決して誘導するような意図はありません。また、意見募集の方法につきましては、本市の「延岡市政策等の形成過程における市民等参加条例」に則った方法であり、意見の多寡で判断するものではありませんので、アンケート方式による意見の募集は考えておりません。 |
| 94 | 事業の必要性について | <ul style="list-style-type: none"> ● 事例の内容について、例で書かれている方々は、提案されているシステムで本当に救えるのか。駐車場の満空状況は分かりやすくなると思うが、事前に駐車場を調べておらず、当日現地でパニックになるようであれば、カーナビも見れず、ましてやHPを確認することもできないと思う。こういった方々には案内所を設けて説明するほうが確実だと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ パブリックコメントの概要に記載しているケースにつきましては、これまで本市がお聞きした実際の事例であり、来場者が事前に駐車場を調べていたとしても十分起り得る状況だと考えております。 歴史・文化ゾーン内には駐車場が複数箇所に点在していることから、現状、誘導員を配置しなければ、どこに駐車場があるのか、また、駐車場の位置が分かったとしても、その駐車場は空いているのかといった情報が分からない状況です。これにより、現状、現地に着いた後に確認するしか方法がなく、例えば事前に調べて行った駐車場が満車になっている場合もあります。その上、駐車場管理システムの整備や誘導員の配置を行わなかった場合は、現地に着いた後、駐車場の中を一周しなければ満車が空車かも分からないような状況になってしまいます。このような状況を回避するためにも、最低でもそれぞれの駐車場に誘導員を配置し、満空状況を利用者の方に伝えていくことで、駐車場に入る前に満車が空車かが分かるようにしなければならないのですが、誘導員をそれぞれの駐車場に配置するとすると、毎年最大で93,000千円の支出が発生し続けていくことになり、大きな財政負担となります。こういった課題を解決するためにも早期のシステム整備が必要と考えております。 また、今後は、アフターコロナによるイベントの本格的な再開や、コメダ珈琲のオープン等により、周辺駐車場の利用者増加が想定されます。インバウンドも含めた観光振興による地域経済の再生を図らなければならない現状の中、観光客に一度でも「延岡市は不親切だ」と思われてしまったら、その方は二度と来てくれませんし、そのような評判が拡がることは大きな損失となります。そのような事態を未然に防ぐためにも、駐車場管理システムの整備を早急に行い、駐車場の満車・空車状況を現地に着く前や、現地に着いてからも伝えていく必要があると考えております。 ■ 案内所を別途設けることにつきましては、さらに経費が増えてしまいますので、難しいと考えております。 |
| 95 | 事業費について | <ul style="list-style-type: none"> ● システム・看板等整備費の見込み額は適正なのか。大切な税金を投入しての事業なので安いにこしたことはないが、企業が損しては不満が残ることになる。後々、予算の変更がないように見込額の再検討と、良心的な発注をお願いする。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 今回のパブリックコメントで公表している費用は、現時点で必要な仕様を基に積算したものであり、広域満空表示看板等、前回のパブリックコメントから除外したものにつきましては、今後、必要性の高まりを見ながら、再度検討していく考えであります。 |
| 96 | 誘導員について | <ul style="list-style-type: none"> ● 市役所前駐車場の誘導員の配置の目的は交通事故防止、通行人の安全確保であり、システムの導入による排除は好ましくない。安心して通行できるように通行人への配慮が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 現在、市役所第1駐車場前の交差点等に配置している誘導員につきましては、安全確保の観点から、今後も配置する予定です。 |